



特定非営利法人 国際ボランティア学生協会(IVUSA)
International Volunteer University Student Association

事業報告書

平成 26 年度 琵琶湖外来水生植物駆除活動

【除去活動】

〔日時〕5月25日,6月21日,6月29日,7月12日,9月5日,9月15~17日,9月24日

10月4日,10月17日,11月15日

〔場所〕滋賀県大津市、草津市、守山市

〔参加人数〕計 1329 名(IVUSA 会員 729 名)

〔活動内容〕オオバナミズキンバイの除去

〔成果〕・約 150t、7000 m³のオオバナミズキンバイを除去できた。

- ・水中、船上からの引き上げなどの重労働において学生の力が発揮できた。
- ・他団体と連携、協議をとりながら進めたことにより、作業の効率化をはかることができた。
- ・夏の大規模活動では南湖の湖岸緑地公園、遊歩道の初期群落、烏丸半島北部湖岸の大規模群落除去ができた。
- ・多種多様なセクターと取り組めた。

【広報活動】

〔活動内容〕エフエム滋賀「style!平和堂マイデイリーライフ」、マザーレイクフォーラムびわこコミ会議、イナズマロック「おいで〜な滋賀体験フェア」、立命館大学エシカルキャンパスアワード、大学の学園祭による展示発表、新聞やテレビなどメディア掲載

〔成果〕・各方面の多くの人たちに琵琶湖の現状について発信できた。

【活動関係者】

〔後援〕琵琶湖外来水生植物対策協議会

〔協力〕滋賀県、守山市、草津市、大津市、環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、立命館大学、近江ウェットランド研究会、認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷、新守山川を美しくする会、玉津小津漁業協同組合、志那漁業協同組合、山田漁業協同組合、瀬田町漁業協同組合、独立行政法人水資源機構、一般社団法人草津北部まちづくり協議会、近江鉄道ゆうグループ、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、琵琶湖汽船株式会社、滋賀県営湖岸緑地公園、草津市立水生植物公園みずの森、滋賀県立琵琶湖博物館、公益財団法人佐川美術館など

